

天敵保護に配慮したリンゴ栽培

舟山 健 氏

(秋田県果樹試験場)

日時：2012 年 11 月 30 日（金）16:30～18:30 頃

会場：明治大学生田キャンパス 中央校舎 0407 教室

生態系の中で、害虫の密度を抑制する働きをもつ生き物を『土着天敵』とよびます。園芸作物であるリンゴの生産では、高品質の果実を生産するための農薬散布が不可欠ですが、多くの殺虫剤は害虫以外の生物に対する影響も大きく、土着天敵を含む園内の生態系を大きく攪乱しています。一方、殺虫剤を散布していないリンゴ園では様々な土着天敵が多数観察されます。これは、果樹が永年性作物であることや、樹木の複雑な立体的構造や下草が土着天敵の生息に適していることがポイントのようです。リンゴ園では、土着天敵を保護して生態系の作用を引き出すことで、現在よりも殺虫剤の使用を抑えた栽培が実施できる可能性があるのです。

今回のセミナーでご講演いただく舟山氏は、秋田県のリンゴ園で問題となっている害虫を対象に、土着天敵を活用した防除技術の開発に取り組んでいます。生産現場の最前線で展開される研究に触れてみませんか？

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享

(5号館 208、内線 7810)